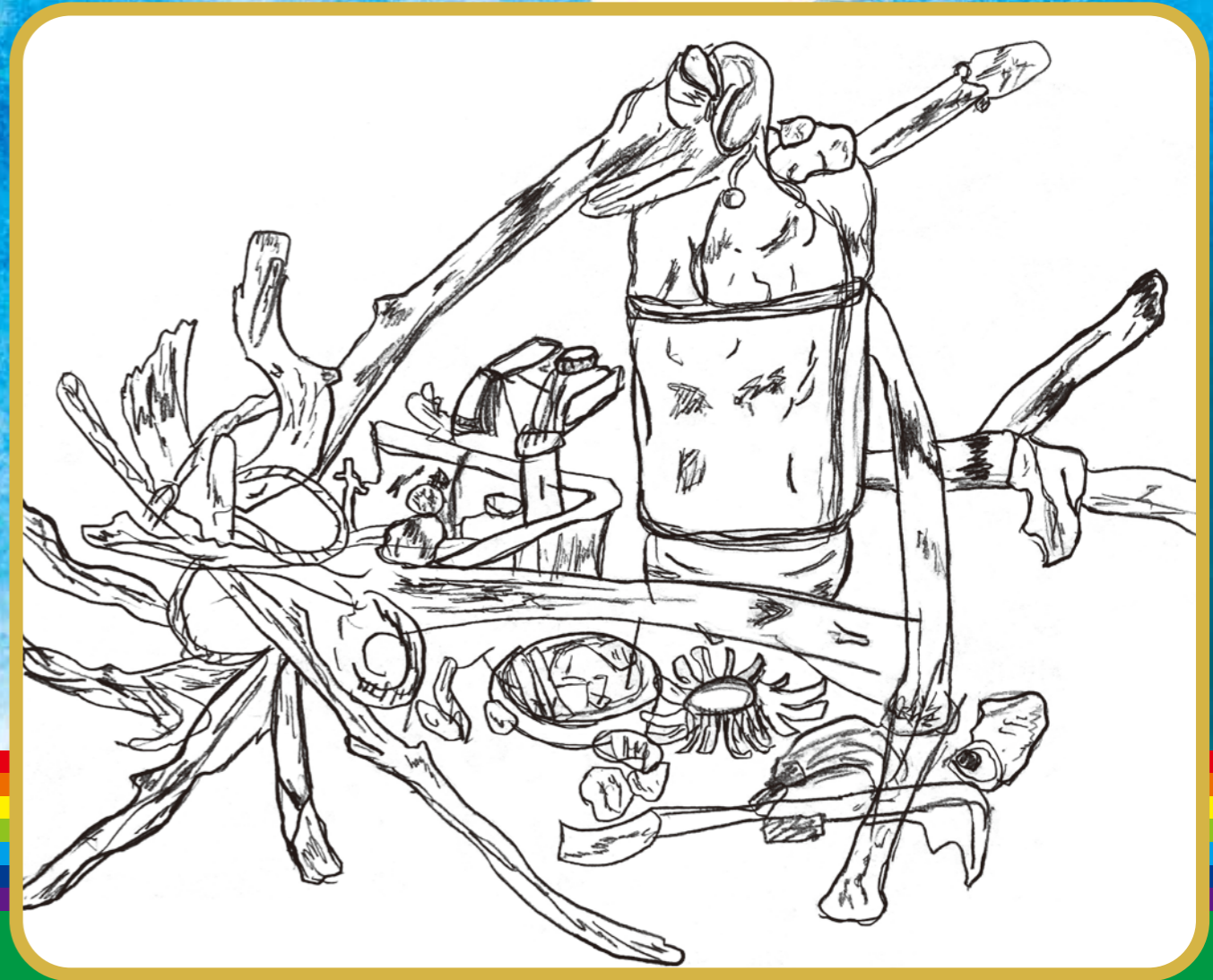


苫小牧市美術博物館の魅力を伝える

ぴとこま

33
ご年



2023年4月29日 [土] ▶ 6月25日 [日]

企画展
美術所蔵名品選
風景画 × 静物画編



今年度も始まり、ベテラン記者から新米記者たちが集まりました。取材した記事はキラキラと眩しいくらいに鉛筆がスリッパを走っています。イラストは画家のよき33号も楽しみました。



レオちゃん

どんな展示?

この美術博物館が博物館から美術博物館になったのは、今から10年前だ。今回は、美術博物館10周年を記念する企画展を取材した。さまざまな風景画や静物画があるので、ぜひ見に行ってください。(前原みのり)

苦小牧の絵や苦小牧近頃の絵がたくさんあった。そのなかで支笏湖にはなんどもいったことがあるので、どこの場所の絵かわかるけど、昔と今でかわっていたので、その違いも見つけられるのでさがしてみてください。(幅田智樹)

それぞれの作について。

遠藤ミマンさんの《野火》という作品は、けおりがあがっていたけど、なにもわからない線のもように見える。だけど、はいいるでけおりのかたちをしているのになんでそう見えるのか不思議だった。(幅田智樹)

中丸茂平《湿原》は、湿原の木や草がとても細かく描かれていて、広々とした湿原の様子がよく伝わってきた。茶色や黄色がベースに描かれているので、夕方や秋の静かな印象だった。(野本遥)



幅田智樹

《野火》という作品が二つあった。一つの《野火》は、遠藤ミマンさんのもので、もう一つは、国松登さんのです。国松登さんの作品のほうがとてもくっきりとしていた。(前原夏帆)

二階堂昊さんがかいた《薔薇》という絵は、すごくおおざっぱにかかれていて、よく観察しないとバラとは分らないと思った。だからといって、まったくバラに見えないわけではないところが表現力があると思った。(前原みのり)

酒井信義さんの『風の生涯』のシリーズです。後ろの空は、えのぐで描いていて、他にもボールペンで描いている作品です。えのぐだけでなく、ペンで書いているのが他とちがっていいなと、思いました。ぜひみなさんもみてください。(葛西多喜司)

《コンポートと果実》(1993年頃) 笠井 誠一



イラスト 森田 紗史



イラスト 野本 遥



イラスト 大橋 尊人

《ぶどう》(1993年) 笠井 誠一

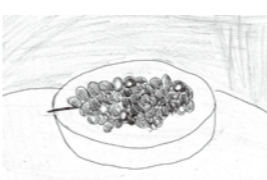


イラスト 森田 紗史



イラスト 大橋 尊人

《にしん》(不祥) 笠井 誠一

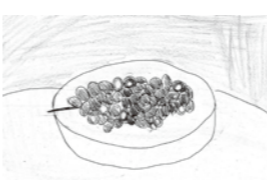


イラスト 前原みのり

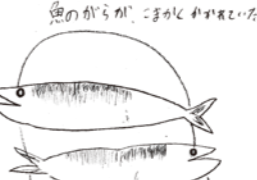


イラスト 前原みのり

《洋蘭と水差し》(1990年) 笠井 誠一



イラスト 岡本 到

4/29(土) - 11/19(日)

なかにわたんじ 中庭展示 Vol.19

おしまけい たろう 大島慶太郎

モノグラムス

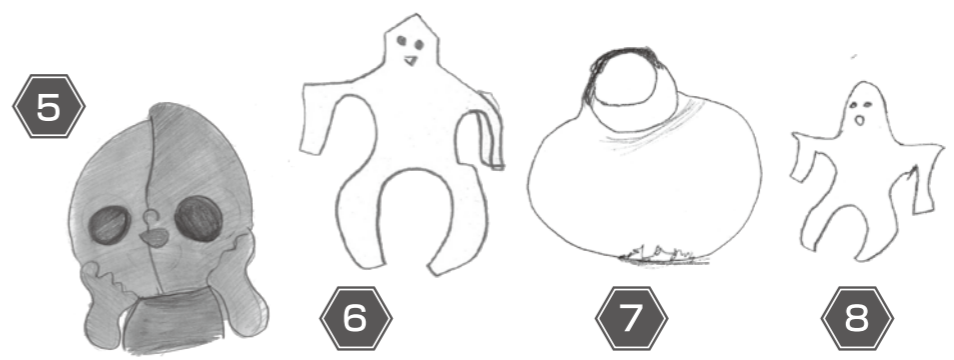
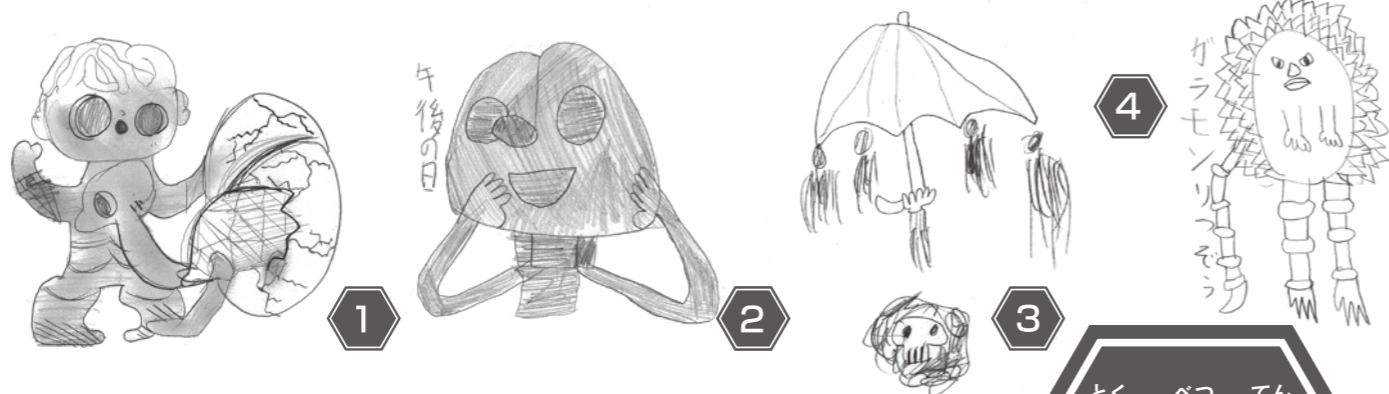
MONOGRAMS



イラスト 大橋 尊人

今回の中庭展示は、中庭ではなく、中庭のまわりに展示するというので、めずらしい展示となったと思う。しかも、そのまわりには、テレビ(ふつうのからブラウン管のものまで)がたくさんあった。作品を作った大島慶太郎さんは「あまり深い考えはない」と話していた。その作品の中には、苦小牧市美術博物館に所蔵されている「はくせい」などの写真をとり、加工したものをつなげて作った映像作品もあった。そのほかにも、美術博物館の時計の映像もあった。なので、もとの物をさがしてみるのもいいかもしれません。(収蔵庫にあるものもあるので、見れないものもあります) (幅田智樹)

中庭には小さな写真がたくさん集めて展示してあり、小さな写真が集まった物を大きな写真としてみると小さな木の写真がつながって、一つの木のみきになっていたり、水平線の写真が集まって大きな海になっていたりした。色々な見方をするので、色々な発見があるからおもしろいと思った。(前原みのり)



今回の展示に協力もしてくれた八戸市美術館から学芸員の篠原英里さんがリポートで見学に来てくれたり、や中村風香さんも参加してくれた！

ぼくが描いた絵は、《前衛芸術家の魂》という作品です。なぜこれにしたかと言うと、ふしぎだったからです。のろいのかさをもったしゅんかんしんでしまったのかなと思った。使ったものの所に頭がい骨と書いてあっておどろきました。さいしょ見たとき本物に見えてしんぞうが止まるかと思いました。どういう気もちで作ったのかなと思いました。(岡本 到)

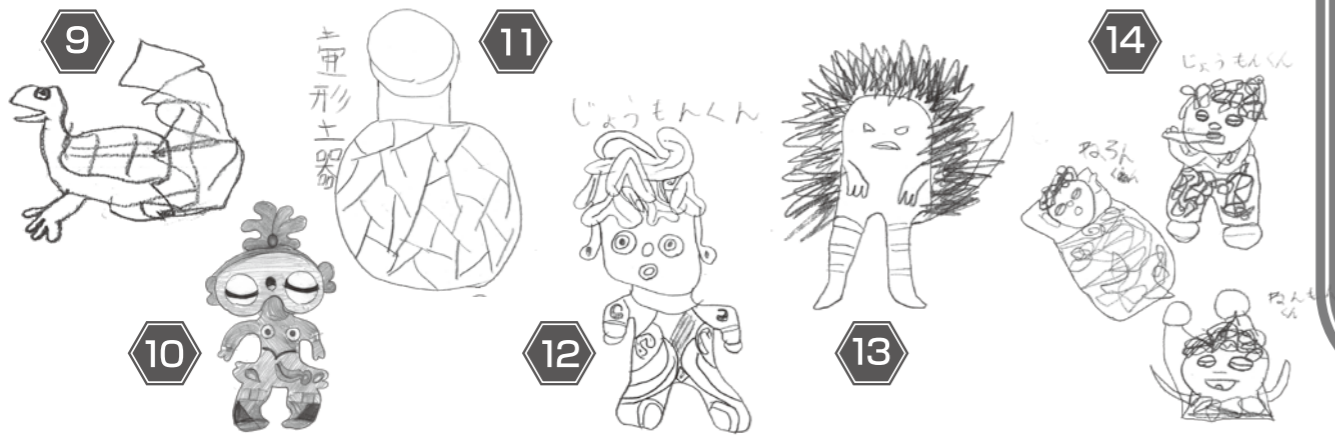
ぼくが今日、しょうかいするのは《白い箱》です。最初に思ったことは写真みたいでリアルだなということです。四コマまんがみたいで上から左、右、下の左、右とよむとエレベーターでたおれ、血が出て、げんけいがどんどんなくなり、チョコになっちゃった！みたいになります。他の作品でもぜひ、ストーリーを考えてください。(葛西多喜司)

とくべつてん 特別展
7月15日(土)~
9月3日(日)
縄文が 現代
共鳴する美のかたち
JOMON

土偶は人や超自然的(自然の法則を超越した)存在を表している。多くの土偶は女性をかたちどって、出産の無事や豊穡を願って作られる。土の中からはバラバラで発見される。(阿部多香子)

《照葉樹林》はとてもこわい。寒色系の色使いで、ほうで頭をつぶされているし、ゆうれいもいるし、口から目が出ている。バイクにひかれそうな人もいる。どうして、このような絵をかいたのか、私は不思議でたまらない。(田野 紗彩)

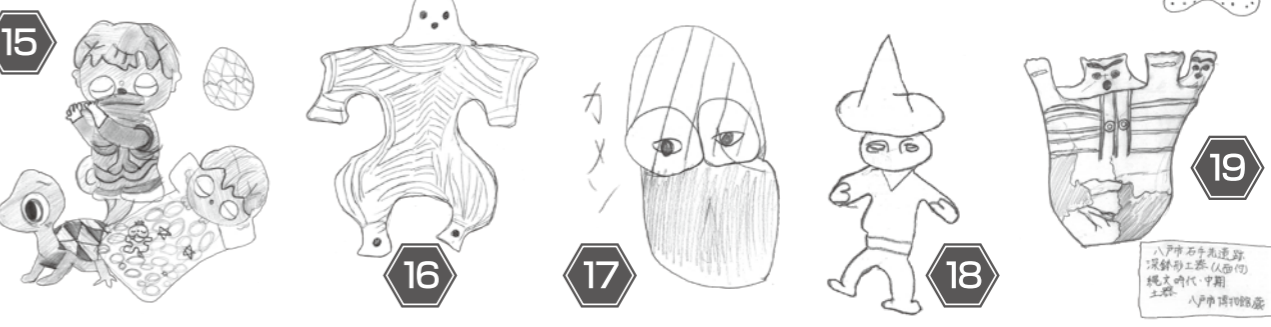
《MIRO》この作品は、とても細かい。木や人、動物などが置かれていて、おもしろい作品だなと思う。又、ミステリアスでもあるように感じる。穴があったり、なぞの生物が沢山いたり、不思議だ。よく見れば、ドアからアヒルが顔を出している。動物も何種類もいる。自分の部屋に置いてみたいと思った。(田野 紗彩)



絵をたくさん描いたよ！

1 大橋 尊人	2 田野 心絆	3 岡本 到	4 田野 心絆	5 大橋 尊人
6 田野 菜絆	7 田野 心絆	8 田野 菜絆	9 田野 菜絆	10 大橋 尊人
11 田野 心絆	12 田野 心絆	13 田野 菜絆	14 田野 菜絆	15 大橋 尊人
16 阿部多香子	17 田野 心絆	18 田野 菜絆	19 引地 優萌	20 田野 心絆

今回の展示会について
当館の開館10周年及び「はちとまネットワーク(苫小牧市・八戸市交流連携協定)」の提携5周年を記念して開催する本展は、「縄文」と「現代」という2つの時代の「かたち」を比較する美術博物館ならではの展示会です。時代を超えて共通する人間の心のありようを感じてみてください！(細矢久人 学芸員)



ねんがっ にち がっ にち
2023年9月23日～11月19日

い で み つ ひ じ ゅ つ か ん ま ん だ い ひ じ ゅ つ め い び ん せ ん
『出光美術館近代美術名品選』

し ま い り ど ひ せ かい
『四季が彩る美の世界』

こんてん
今展のテーマは、
しゅん か しゅうとう
『春夏秋冬』



イラスト 田野 心絆

こんかい てんじかい しゅんかじゅうとう うつく
今回の展示会のテーマは、「春夏秋冬」だそう。美
あびえ こうげいひん あつ てんじかい たし しぜん
しい油絵や工芸品が集まった展示会で、確かに自然の
ようす いろいろ いる えが かた えが さくひん
様子を色々な色、描き方で描いたすばらしい作品がた
くさんあった。また、油絵だけではなく、紙に描かれ
さくひん ひかり よわ てんじかい ぜんたいてき しょうめい お
た作品は、光に弱いため、展示会は全体的に照明を落
てんじ たいしゅうじだい
として展示されているそう。やきものは、大正時代
つく もの しょうわじだい もの ひる ねんだい
に作られた物から、昭和時代の物まで、はば広い年代
のやきものが展示されていた。どれも形から色、がら
てんじ かつち いろ
までとても細かく描かれていて、見れば見るほど美し
こま えが み み うつく
さが出てくる作品だと思った。 まえはら
(前原みのり)

りとい見入っていました。
油絵、日本画、陶器、漆器と子ども記者たちはつと
りとい見入っていました。
板谷波山の描画を見て色が
の色が想像できたと感想を書いた記者も
いて、作品や技術の凄さが伝わります！



とくべつてん いでみつこうさんかぶしきがいしゅうほつかいどうせい ゆじょうまう じゅうねん
特別展 出光興産株式会社北海道製油所操業50周年

とまこまいしひじゅうほくぶつかんかいがん じゅうねん
苫小牧市美術博物館開館10周年



ジ ヨルジュ・かい
ルオーの世 界

にほん えに
日本の絵と似ているルオーの

おもで
《シエールの思い出》(1930)

この絵には、動物がかくれている。又、黒
くろつよ せん
々強い線でりんかくをしっかりと描いている
ので、日本の絵と似ている感覚があるとの
ことので人気なのだそう。 たのさあや
(田野 紗彩)

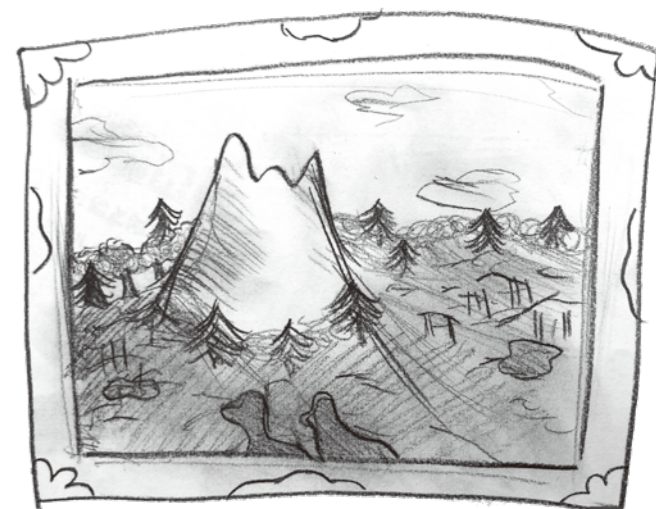


イラスト 大橋 尊人

ちゅうごく ふんいき おお
中国っぽい雰囲気のものが多い?

こんかい てんじ み ちゅうごく ふんいき おお かん
今回の展示を見て、ぼくは中国っぽい雰囲気のものが多いと感じ
ました。なぜかという、ほこうさいじ おうむからくさちゅうがんもようかびん
《葆光彩磁鸚鵡唐草彫嵌模様花瓶》は、
え えが
オウムの絵が描かれていましたが、どちらかといえば、鳳凰など
とり
の鳥ににいたし、ぼくは中国の昔話、『西遊記』を読んだので
さいゆうき せかい てんかい ほんとうえん
が、西遊記の世界の天界に蟠桃園というものがある、そこには
もじ もも き こんかい てんじ ほうぎゅうとうりんず たいへい
文字どおり桃の木があります。今回の展示に《放牛桃林図・太平
ゆうぞうず
有象図》というびょうぶがありました、その絵にも桃の木が書
かれていて、とあ やま かすみ はばた ともき
遠くの山には霞がかかっています。(幅田 智樹)



おも
重そうだけど、素材は木



イラスト 前原 夏帆



イラスト 引地 優萌

つつるしていて、おもそうだけど木に
うるしをぬってつくられているのをしっ
てとてもおどろいた。 まえはら かほ
(前原 夏帆)



イラスト 田野 菜絆



イラスト 田野 心絆



イラスト 大橋 尊人



東山魁夷の世界

しゆんしやう 《春梢》 昭和58年(1983)

この作品は、日本画の技法で描かれていて、岩絵の具という絵の具を使っているのだ。ドイツの森の風景だが、北海道の森の雰囲気ともよく似ている。黄緑色の若葉を点のように細かく描き、春の様子を表現している。

(野本 遥)

日本の絵は、「岩絵の具」を使っていて、色々な所から見るとキラキラしている。又、絹や紙などにかかれていますので、あまり強い光に当たると日に焼けてしまいやすくなるので、今回は照明を落として展示されていた。(田野 紗彩)

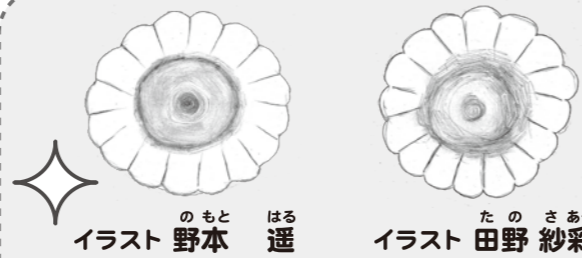


イラスト 野本 遥

イラスト 田野 紗彩

ぼくは、今日とても気に入った絵をしようかします。岩えのぐの《春梢》という作品です。気に入ったところは、色があざやかなところと、道がせまくなって本当に道があるかのように思えてくる所です。最初に言ったとおり、岩えのぐなので油えのぐと表面のちがいや色のこさをくらべてみるのも楽しいです。ぜひ、見てください。(葛西多喜司)

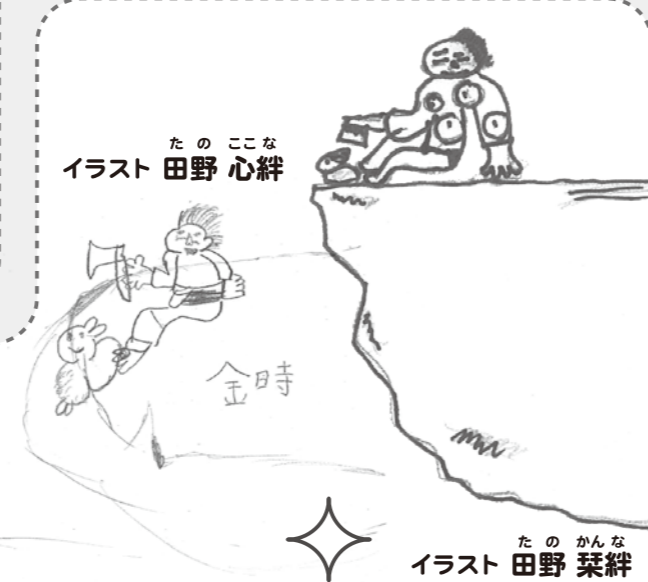


イラスト 田野 心絆

イラスト 田野 菜絆

小杉放菴の世界

きんとき 《金時》 昭和時代

金時の小さい時の名前は金太郎。金時と金時のお友だちのうさぎさんは何をながめているのかなあ。やさしい感じがしている。(田野 菜絆)

ちい ころ な 小さい頃の名は 『金太郎』

(田野 菜絆)

出光美術館近代美術名品選—四季が彩る美の世界

板谷波山の世界

さいじたけみき かびん 《彩磁竹幹花瓶》 明治43年(1910)

今回の展示会は、油絵や岩絵の具、つぼなどの工芸品など、様々なジャンルの作品が展示されていて、見ていてあきない展示会だった。中でも私が気に入ったのは、板谷波山が作った《彩磁竹幹花瓶》だ。この作品は、竹の形をした花瓶に竹の絵が描かれていて、竹が本当に風が当たってザワザワとゆれそうなくらいリアルで素晴らしいと思った。(前原みのり)



たけ竹をかたどっている!



イラスト 前原 夏帆

イラスト 前原みのり

イラスト 引地 優萌

か かふんぼん 《花果粉本》

ぼくは、最初見て「写真じゃないのに花がともきれいに写されているな。」と思いました。全部カラーじゃなくて白黒の所もあるのに、全体の色がそうぞうできました。(葛西多喜司)



さい や 野菜をかたどっている!



イラスト 田野 菜絆

イラスト 野本 遥

イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人



イラスト 前原みのり

イラスト 前原 夏帆

イラスト 田野 菜絆

ほこうさいじおうむからくさちよがもよう かびん 《葆光彩磁鸚鵡唐草彫嵌模様花瓶》 大正3年(1914)

はっぱとお花とオウムが描かれている。そののもようと入口のもようが同じ。(田野 心絆)



イラスト おおはし たかひと 大橋 尊人

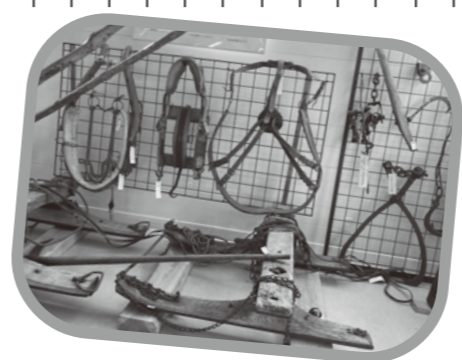


しん りん き ねん かん
森林記念館と

しん りん し りょう かん
森林資料館を

けん がく
見学してスケッチ!

ねん
2023年
がつ にち
11月11日



しん りん き ねん かん
森林記念館



しんりん きねんかん たてもの ふん い き
森林記念館の建物は雰囲気があつ
くにとろくゆうけいぶん かざい
て、国登録有形文化財なんです。吹
き抜けもあって民具や資料がずら
り。スタッフのみなさんには薪ストーブで暖かくしてお
迎えいただきました！スケッチもたくさんかけたよ。

イラスト
たの ここな
田野 心絆

北海道大学
北見山 地方シ実習林

イラスト
のもと ぼる
野本 遥

アーティスト
このいけともこ
鴻池 朋子さん

アーティスト
くわさこ かな
桑迫 伽奈さん



けんきゅうりん すてき あんない
研究林の素敵な案内マップは…
びとこまおとな記者のめっちゃ
んの仕事。現在位置を確認しに
行きました。

イラスト
はば た とも き
福田 智樹

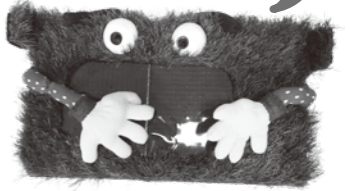
イラスト
レオちゃん



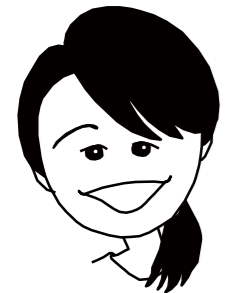
きせつ か たず
季節を変えて、また訪
ねたい素敵な場所です
た！また行こうね！

さいご
最後は、みんなで記念写真!!

おかもと いたる
イラスト **岡本 到**



今回の野外活動は、北海道大学苫小牧研究林へ♪天気がよくて気持ちのいい一日でしたー文化人類学の山口さん、アーティストの鴻池さんと桑迫さん、苫小牧在住の鈴木さんも遊びにきてくれました。大人も子どもも一緒にスケッチ、楽しかったね♪



たていし がくげいりん
立石 学芸員



しん りん し りょう かん
森林資料館

きちよう せいぶつりょうほん りんさんか こうりょうほん
貴重な生物標本や林産加工標本
がたくさん展示されています。
その数なんと4000点以上！中には直径2mを越す幹の立木標本などがあり、迫力満点！





素晴らしいインタビューがあり、イラストは観察した形や細かな模様、文字や質感の特徴などがしっかりと表現されています。

題字「前原みのり」前原夏帆／大橋尊人／葛西多喜子



さとう 佐藤 たくひろ 学芸員

昭和時代に使われた水に関する道具を、「あらう」「よそあう」「たべる」「たのしむ」などのテーマに分けて紹介しました。道具のうつりかわりを通して、人々の生活や文化について考えてくれたらうれしいです。



来館者インタビュー 幅田智樹 記者

世代ごとに思ったことが違う！

今回の展示は、世代によって感じるものがちがうと思いました。そこで、今回の展示について、色々な世代の人にインタビューしました。



まずは最初に名刺交換！



レオちゃん

50才以上

「子どもの頃使っていた物、遊んでいた物などがあって、なんだか嬉しかった。」「使ったことがある物がたくさんあった」などの意見があった。

40代

「身のまわりの物が、色々変わっているとはあまり思わない。」「形は変わっても、昔あった物と同じように使う道具は今もある」と、苫小牧市在住のアーティストの藤沢レオさんは語る。また、「カップより、みのの方が雨の日ぬれないと言うことを聞いて、みのを着て雨の日あるいてみたい。」とも言っていた。

10代

「つかったことはないけれど、昔のどうぐもつかいやすそう」と子ども記者の岡本さんは語る。

さいごに、インタビューをしてみて…やはり、今回の展示は年代によって意見がちがったとあらためて思う。思い出のある物、使ってみたく物、使っていた物。くらしというものは、身のまわりにある物によって左右されているのかもしれない。

はばた ともき (幅田 智樹)

【あらう】

1957年

手廻し洗濯機

一度に2、3枚…不便だと感じた！

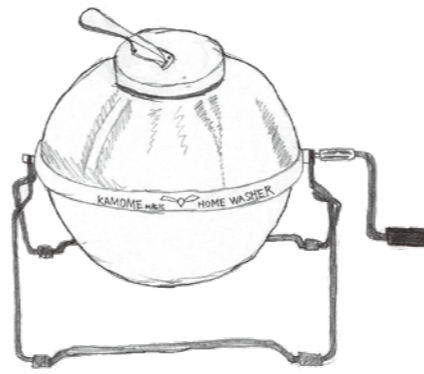


イラスト 野本 遥

度に2、3枚の服しか洗うことができないと思うので、不便だと感じた。

これは、中に洗濯物と湯を入れ、手で横についているハンドルを回して使う。脱水はできないので、手でしぼる。本体は今の洗濯機と比べるとかなり小さく、

手間がかかりそう！

今の洗たく機よりも小さくて、手動なので手間がかかりそう。小さいから服が2~3枚、あるいは1枚しか入らないかもしれない。

たの さあや (田野 紗彩)



イラスト 田野 紗彩

くつろみき 薬吞器

昭和初期、室蘭市民俗資料館蔵

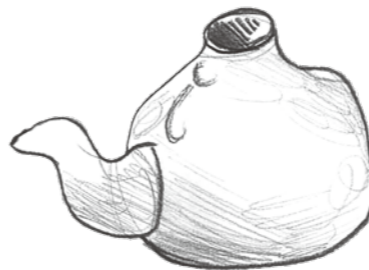


イラスト 大橋 尊人

【いやす】

水枕

当館蔵

風邪を引いてねつを出したとき、氷や水を入れて体を冷やした。ゴムでできている。冬は雪を入れてつかうこともあった。

たの ここな (田野 心絆)



イラスト 田野 心絆

1955~64年

電気洗濯機

北海道博物館蔵

楽しそうに使ってみたい

昔のせんたくきは、ボタンじゃなくてダイヤルを回すとうごきます。楽しそうに使ってみたいです。

たの かな (田野 葉絆)

洗い張り板

当館蔵

ちゃんと考えて作ってある！

この板は、たての板の上に横の板がつけてある。レオさんが言うには、「木は水がついてぬれたりかんそうしたりするとまがってしまう。だからたての板によこの板をつけてまがらないようにしているのではないか」。ちゃんと考えて作ってあって、おもしろいなと思った。

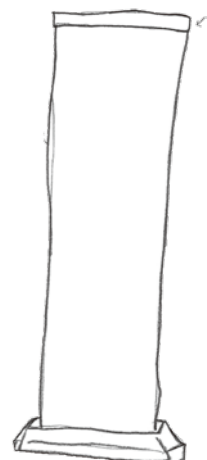


イラスト 田野 紗彩

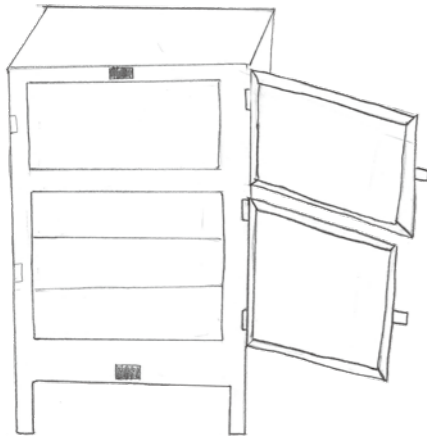
【ためる】

ねん ぜんご
1955年前後

こおりれいぞうこ
水冷蔵庫

ほっかいどうはくぶつかんぞう
北海道博物館蔵

たも
せんどが保たれるというメリットも!



まえはら かほ
イラスト 前原 夏帆

いま
今のれいぞうこは、電
きつか
気を使っているが、昔
のれいぞうこは氷を使
っていた。
でんき
電気のれいぞうこも
たくさんの物をひやせ
てべりだが、氷を使
ったれいぞうこは、し
つけがあるため、魚や

や
野さいなどのせんどが保たれるというメリットもある。そ
のため、高級なすし屋さんでは、今でも氷のれいぞう
こを使っているという。昔のちえが今の時代でもやく
だっているのはすごいことだと感じた。(前原みのり)

【たのしむ・あそぶ】

ふうせん
ヨーヨー風船

とうかんぞう
当館蔵



おお たかひと
イラスト 大橋 尊人



かさい たまじ
イラスト 葛西 多喜司

あそ
遊ぶときは注意!

これはお祭とかでよくうっているヨーヨー風船です。ゴ
ムの中に水がはいっていて、われると、水が出てくるの
で服がびちょびちょになることがあります。ほくは2、3
回やったことがあるけど、1回目なくす、2回目よりまわ
してとんでいき、はれつ。3回目ようじんぶかくあそん
で、なれてちょうしにのりはれつ。そしてふうせんの風船
でやっているとお水のおもさに、たえきれずはれつとあ
りました。遊ぶときは注意してください。(葛西多喜司)

ねん
1955~1974年

びん
ジュース瓶

むろらんし みんぞくし ぼうかんぞう
室蘭市民俗資料館蔵



イラスト 野本 遥 イラスト 田野 紗彩 イラスト 田野 菜絆

ねん
1955~1974年

ぎゅうにゅうほこ
牛乳箱

とうかんぞう
当館蔵

やかん
薬缶

とうかんぞう
当館蔵

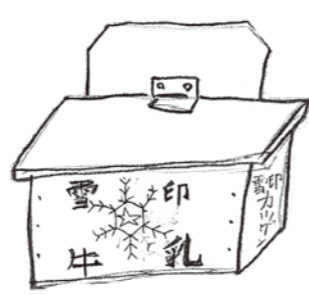


イラスト 田野 紗彩



イラスト 大橋 尊人

ねん
1955~1974年

ジュースミキサー

とうかんぞう
当館蔵

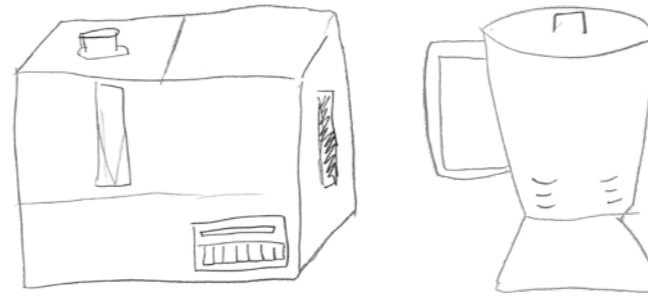


イラスト 前原 みのり



イラスト 田野 菜絆

イラスト 岡本 到

ねん
1955~1974年

ジューサー

とうかんぞう
当館蔵



イラスト 田野 菜絆

【よそおう】

ねん
1955~1974年

わらくつ
藁沓

とうかんぞう
当館蔵

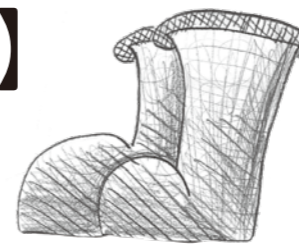


イラスト 大橋 尊人

レインスティックとは?

あめ おと ほうじょう がっき ほんとう かんそう
雨のような音がする棒状の楽器です。本当は乾燥さ
せたサボテンなどで作るのですが、今回は、ペットボ
トルとつまようじを使いました。中にビーズを入れた
り、シールを貼って自分だけの音色をつくりました。

【つくる】

ねん
1955~1974年

アイスペット

とうかんぞう
当館蔵

むかし
昔も
かき氷が
あったことを
知れた!

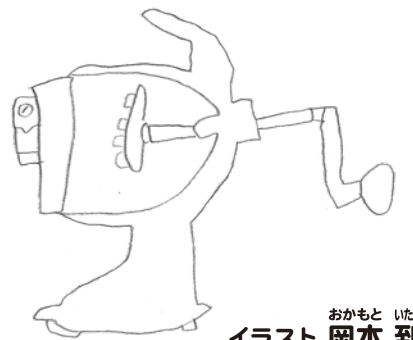


イラスト 岡本 到

ぼくは、今日、アイスペットとジューサーミキ
サーを見た。アイスペットは、げんざいで言う
と、かき氷です。氷のはさみかたは、よく分
かりませんでした。昔にも、かき氷がじっさい
にあったことが知れてよかったです。ジューサ
ーミキサーは、ミキサー、おろし、まぜる、と
ろろ、きざむ、ジュースつぶす、氷かき、うす
きり いろいろ なた
切などの色々なやり方があることにおどろきま
した。全部みて、昔のほうが使いがってがよい
もの物がありました。(岡本到)

ねん
1955~1974年

たまごき
ゆで卵器

とうかんぞう
当館蔵



イラスト 大橋 尊人



企画展では絵の中の風景をゆっくゆっく、
特集展示ではお話を聞きながら、色々な
角度から冬の日の美術鑑賞をじっくりと
楽しむ回となりました。



たてしがくけいん
立石学芸員

ねん がつ か にち 2023年12月9日(土) ▶ 2024年3月24日(日)

企画展
きかくてん

鹿毛正三

～アトリエ“薔薇絵亭”より～

が げ しよう ぞう



イラスト
森田 紗史

《秋色溪流》

この絵の中には、一人のつりをしている
人が描かれている。近くで見ると何だか
分からないような赤色の点と青色の2本
の線だが遠くから見るとつりをしている
人だとすぐに分かるのが不思議だ。秋の
晴れた日の山の風景がリアルに描かれて
いてきれいな作品だった。(野本 遥)

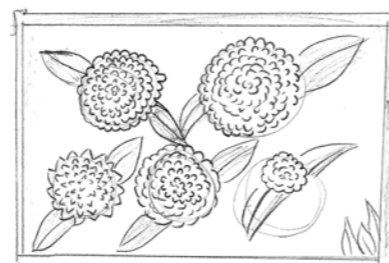


イラスト
大橋 尊人

《あじさいの花》

《あじさいの花》という絵で、ぼくはずご
いと思いました。理由は、あじさいの花と
葉っぱしかないのに、きれいで、美しい作
品でした。たったこれだけなのに、見る人
の心をつかむ、作品をたくさんかいて、と
てもすごい作品だと思いました。(大橋 尊人)

イラスト
大橋 尊人

スケッチボックスは鹿毛さんが風景画を外でか
くのによく使っていたそうだ。スケッチボック
スは、組み立てるとイーゼルになり、絵の具や筆
も収納できる。しかし、キャンバスを入れられ
るほどの大きさではない、キャンバスは手で持
って移動していたのかもしれない。(森田 紗史)

スケッチボックス



イラスト
森田 紗史

パレット



イラスト
野本 遥

筆



イラスト
大橋 尊人



特集展示

びとま

インタビュー

THE SNOWFLAKES

スノーフレイクス

特集展示の制作を担当したTHE SNOW FLAKES

の1人、国松希根太さんに話を聞きました。

2023年12月9日(土)～2024年3月24日(日)

聞き手・まとめ：幅田智樹

漂着物はどこでひろっているのですか？

国松さん：白老の竹浦や虎杖浜などで主に拾っています。

バックの音についてくわしくきかせてください。

国松さん：ガラス全体を振動させたりして音をだしてい
ます。波のような音は金属の玉で作っていま
す。泡のはじけるような音は水にストローを
吹き込んで作りました。

このような制作をはじめたのはいつですか？

国松さん：THE SNOWFLAKESではじめたのは2020
年ですが、個人の制作は、2002年からやっ
ています。

展示どうだった？ (幅田 智樹)

(今回の展示は、漂着物でできていると知って)。

漂着物は、だいたいプラスチックなどでできている。それ
に漁師さんのつかっている「うき」などもあった。こんな
に人間はゴミをすてているのかと感じた。(岡本 到)



イラスト
引地 優萌

ご協力ありがとうございました!!



うえたけ ゆうきしゃ
植竹 湧 記者

ちゅうがく ねん うえたけゆう ちゅうがっこう はい ぶかつ はじ
中学1年の植竹湧です。中学校に入り部活が始
まり土曜日これないことも多くなってしまうけ



ど、できるだけ多くびと
こまにさんかして、みんな
で楽しみたいです。前と
同じように文でびとこま
を支えていきたいです。

おおはし たかひときしや
大橋 尊人 記者

なまえ おおはしたかひと え
ぼくの、名前は大橋尊人です。絵をかくことと、
こうさくすることが大好きです。びとこまでも、



絵をかいたり、いろいろ
な物を作ったり、見たり
したいです。友だちもたく
さんつくりたいです。

おかもと いたるきしや
岡本 到 記者

あかもといたる ぼくせいしやうがっこう ねんせい おひ
ぼくは、岡本到です。北星小学校の3年生です。帯
広で生まれて旭川で7年間すごした後、去年苫小牧に



引っこして来ました。びと
こまでは、デザイナーをが
んばりたいです。好きな食
べ物は、ガムです。とくぎは、
しずかに走ることです。み
んなと力をあわせて、きじ
を書くのが楽しみです。

かさいた きじきしや
葛西多喜司 記者

たるまえしやうがっこう ねんせいかさいた きじ
ぼくは、樽前小学校の4年生葛西多喜司です。びとこま
は、初めてなのできんちょうするけどがんばりたいです。



まだみんなの名前を覚えられ
ないけどみんなとなじんでい
きたいです。1回目は、休ん
でやってないけど早く追いつ
きたいです。みんな、よろしく
おねがいます。びとこまも
がんばります。

たの かなきしや
田野 菜絆 記者

たの かな しやうがく ねんせい
田野菜絆、小学2年生です。わたしの好きなことは、
絵をかくことです。びじゅつかんは色いろな作品が



見られるから大好きです。
今年は、記事を書くことを
がんばります。

たの こなきしや
田野 心絆 記者

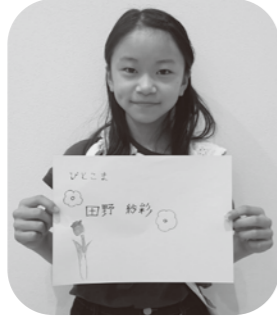
しやうがく ねんせい たの こな こうさく
小学2年生の田野心絆です。好きなことは工作と
本を読むことです。びとこまでがんばりたいこと



は、記事を書くこと、絵
を描くことです。1年間よ
ろしくおねがいます。

たの さあやきしや
田野 紗彩 記者

しやうがく ねんせい たの さあや す
小学5年生の田野紗彩です。好きなことは、おどる
ことと絵をかくことです。びとこまでは上手に文章を



まとめることやイラストをか
くのをがんばりたいと思って
います。また、タブレットで
レイアウトするのをがんばり
たいです。よろしくお願
いします。

の もと はるきしや
野本 遥 記者

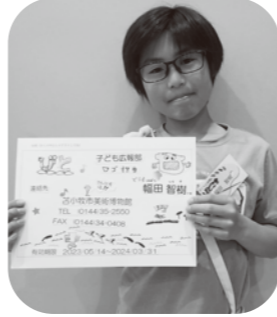
ちゅうがく ねんせい のもとはる なかにわたんじ りつたい てんじ
中学2年生の野本遥です。中庭展示、立体の展示が
特に好きです。文章を中心に取材したいです。好きな



ことは、手芸と食べること
です。今年度は、写真やし
アウトにも挑戦したり、よ
り上手に文章や絵がかける
ように頑張ります。よろし
くお願
いします。

はばた ともききしや
幅田 智樹 記者

わかくさしやうがっこう ねん はばたともき ねんめ
若草小学校5年の幅田智樹です。びとこまは2年目な
のでがんばりたいです。去年、記事を漢字でぜんぜん



かいていなかったの、そこ
を直したいと思っています。
それから去年はみんなの名前
をおぼえられなかったの、
みんなの名前を覚えて仲よく
したいです。どうぞよろしく
おねがいます。

ひきち ゆめきしや
引地 優萌 記者

みそのしやう ねんせい ひきち ゆめ す こと どくしよ
美園小5年生の引地優萌です。好きな事は、読書です。
好きな教科は、国語と社会で、5年生では、体育を頑張



りたいです。最近、テニスと
囲碁を始めました。絵を描く
ことが得意なので、びとこま
ではイラストを描きたいです。
あと、びとこまは今年で2回
目なので、インタビューにも
挑戦したいです。

まえはら かほきしや
前原 夏帆 記者

わし みそのしやうがっこう ねん まえはらかほ どくしよ す
私は、美園小学校4年の前原夏帆です。読書が好き
です。得意なことは、フルーツをふくことです。好き



な教科は、理科です。びと
こまは、2年目です。去年は、
イラストをたくさんかいて
いましたが、ことしは、文
章をたくさんかけるように
がんばります。よろしくお
ねがいます！

まえはら きしや
前原みのり 記者

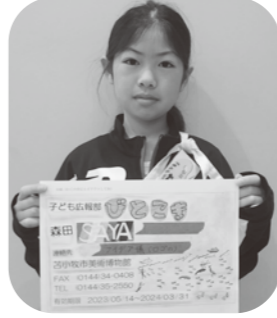
なまえ まえはら す
わたしの名前は前原みのりです。好きなことは食べ
ることと野球をすることです。びとこまでは絵をかく



のをがんばります。役職は半
人前のコメンテーターです。半
人前だけど作品に対していいコ
メントをかけるようにがんば
ります！よろしくおねが
います。

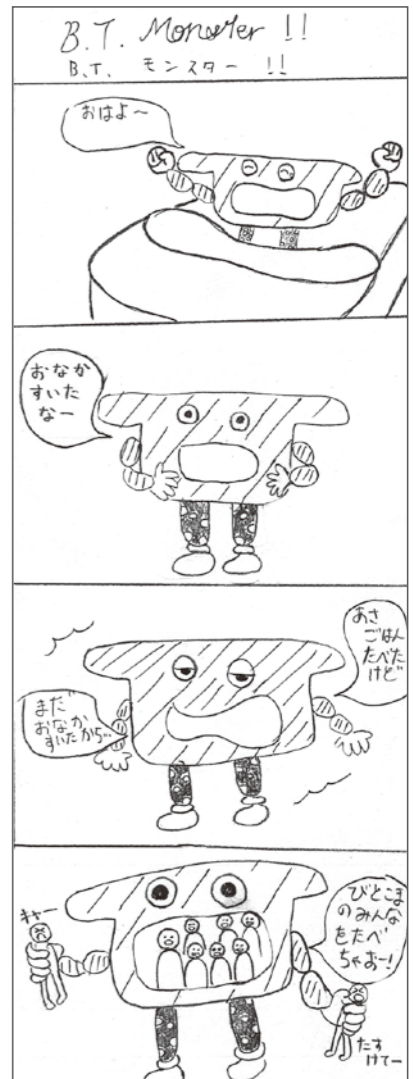
もりた さやきしや
森田 紗史 記者

わし なまえ もりたさや まつた し ひと なん
私の名前は、森田紗史です。全く知らない人に「何
年生に見える？」と聞くと、必ず3~4年生と言わ



れるけれど、6年生です。
勉強で得意なのは、計算で、
苦手なこと漢字です。よろ
しく！

ねんど
2023年度
きしや
びとこま記者
しょうかい
ご紹介!



「野本遥・田野紗彩作」

2023年8月20日(日)、北海道大学苫小牧研究林で開催された自然観察会「昆虫採集と標本づくり」に、びとこま記者たちが参加しました♪

10年、100年、1000年たって**伝えるための標本**



イラスト
田の かな 田野 菜 綵

私は北大研究林で、「センチコガネ」をつかまえて、それをひょうほんにしてみました。

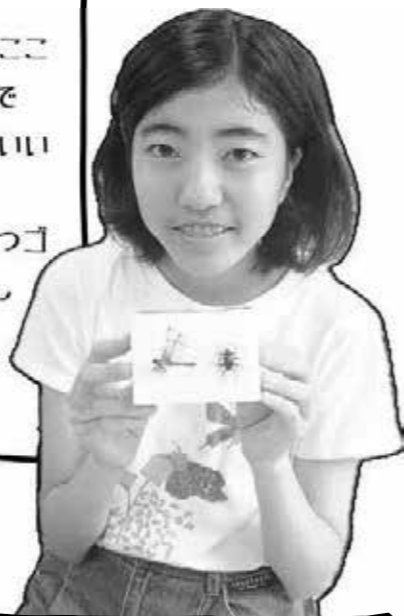
ひょうほんは、10年も100年も1000年もたったあとに、「ここには、こんな虫がいたんだよ!」と伝えるために作るそうです。私の作ったひょうほんが後の年代の人に伝えられるといいなと思いました。

北大研究林は、広くて、川が流れており、日本でゆいっつゴンドラがある研究林です。中には立入禁止の区域がありました。また、きけんな虫を知り、びっくりしました。

今日は形を整えることだけをしました。仕上がりが楽しみです。(田の 紗 彩)



イラスト
おかもと ともる 岡本 到



私は虫が苦手だったけど、虫を沢山さわって、なれることができました。センチコガネやシテムシなど、知らない虫も多かったです。取った虫は、木の根本にいたり、土の中にかくれている虫がほとんどでした。標本を作る時は、体の部分を左右対称にするのが難しかったです。体が曲がってしまったり、手足がちがう方向に向いてしまったりしました。また作りたいです。(引地 優 萌)



イラスト
かさい ともき 島西 多喜司

ぼくは、ひょうほんを3つ作りました。一つは、クワガタです。さいごの帰る時におちていました。りっぱなつこのミヤマクロガタのオスでした。ひょうほんにする時、しよつ角まではりて止めていて大へんだな、と思いました。中みは、すっからかんだけど、手や足、つのも、あってよかったです。(岡本 到)



北大研究林にはじめて行きました。さいしょに…研究林のやくわりや、どうしてひょうほんをつくるのか聞きました。虫をつかまえる時は、近くの公園より虫がたくさんいました。サップロマイマイも、2ひきみつけました。センチコガネとキマワリをひょうほんにしました。ほかの虫は、にがしました。ひょうほんをつくる時にむずかしかったところは、こん虫の足です。こんかいつくったひょうほんを、なん年もたってたくさんの人にみてもらいたいです。(田の 心 綵)

こん虫ひょうほんを作るとき、薬をわたにしみこませて箱にガスをじゅうまんさせて、ころし、くぎでこていし、れいぞう庫で二週間ほうちして、くぎをぬき完成する。ということがよくわかって楽しかった。(島西 多喜司)

活動の様子 のぞき見

びとこまの紙面は、校正や見出しのロゴなど、記者たち自身で考えて、形にしています。記事もイラストも自分たちで考えて、校正も自分たちで。表紙や募集のポスターも、それぞれやりたいことになって、記者たち自身で作りしました。

今年は辰年だから、龍をかこう!



龍のイメージは緑かな?

今年の表紙は、これまでみんながいたイラストをピックアップして、組み合わせよう!ということになりました。みんなでえらんだ表紙のイラスト、紙面のなかからみつけてみてください!



龍のうろこの形にイラストを配置したらいいんじゃない?

新しい絵もやっぱり足したい!

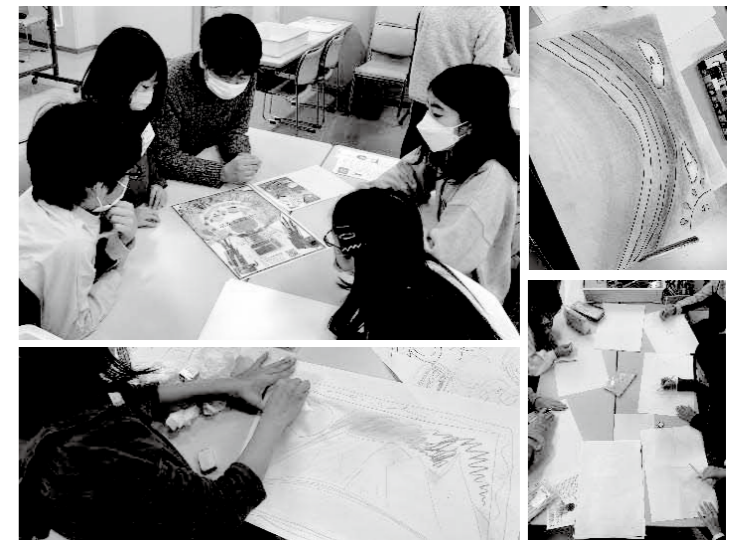
背景の空はパステルで描くね!

どんどんアイデアができてすごい!

新しい仲間を募集するポスターも自分たちで作ります!完成イメージをラフスケッチしながら、必要なイラストなどを描きました。



12月に見学した日本製紙白老工場よりA3サイズのコピー用紙をご提供いただきました!!『びとこま』で使用する約1年分の量です!!大切に使います!ありがとうございました!



デザインは、デザイナーのめっちゃんと堀米和克さん、紙面づくりでは、紙の街の小さな新聞『ひらく』の山田香織さんがみんなのサポートに。子どもたちのひらめきを、一緒に形にしています!

33号の紙面は、ご提供のコピー用紙を使用しています。

編集:子ども広報部びとこま、苫小牧市美術博物館、NPO法人 樽前 Art プラス 発行:苫小牧市美術博物館(苫小牧市末広町3丁目9-17)

苫小牧市美術博物館の魅力を伝える

びとこま 33号



子ども記者は、毎年、4～5月に募集を行っています。

見学についてはお気軽にお問い合わせください♪

詳しくは、苫小牧市美術博物館のホームページか、お電話にてお問い合わせください。



発行した広報紙や活動の様子は、ホームページで公開しています！

びとこま って何？

苫小牧およびその近郊の小中学生を部員にした子ども広報部「びとこま」では、広報紙の製作などの活動により、美術博物館や苫小牧の文化芸術の魅力を発信しています。「びとこま」という名前は「びじゅつかん」と「とまこまい」を合わせてつけられました。

NPO 法人樽前 arty プラスと共に運営しているこの活動では、子どもたちが主体的に様々な文化芸術と関われるようになること、子どもたちの声を発信すること、そしてその声を届けることを大切に考えています。

編集後記

この1年間、様々なジャンルの展示取材でき、とても楽しかったです。THE SNOWFLAKES の展示では、実際に話を聞いたので、良い機会になりました。展示物や牛乳びんなど普段は描けないようなものも絵にしたりと、ここでしかできない経験をたくさんすることができました。(野本遥)

今年も楽しい展示がたくさんあった。見ているとおもしろいし、「この作品を作っている間、どんな事を考えていたのかな」「展示を見た人は、どんな風に感じたのかな」と、色々な事を深く考えられた。来年もどんな展示や活動があるのだろう。とても楽しみだ。(田野紗彩)

びとこま 第33号 (2024年3月発行)

【制作】 子ども広報部びとこま (植竹湧、植竹湊、大橋尊人、岡本到、葛西多喜司、田野菜絆、田野心絆、田野紗彩、野本遥、幅田智樹、引地優萌、前原夏帆、前原みのり、三浦百葉、森田紗史)
苫小牧市美術博物館、NPO 法人樽前 arty プラス

【表紙】 子ども広報部びとこま

【紙面デザイン、表紙デザイン補助】 堀米和克 (NPO 法人樽前 arty プラス)

【企画】 苫小牧市美術博物館、NPO 法人樽前 arty プラス

【発行】 苫小牧市美術博物館 (北海道苫小牧市末広町3丁目9-7)